

平成27年度熊本県学力調査「ゆうチャレンジ」 中学校第2学年 理科 出題のねらい等

No.1

連番	大問	中問	小問	領 域	学年	学習指導要領の内容等	出題のねらい	観 点				問題類別	
								自然事象への関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解	知識	活用
①	1	(1)		第1分野 物理	中1	(1)イ(イ) 圧力	水圧の大きさが水の深さに関係あることを、実験結果を比較して考察し、指摘できること。		○				○
②		(2)		第1分野 物理	中1	(1)イ(イ) 圧力	実験結果から圧力の計算ができること。			○		○	
③		(3)		第1分野 物理	中1	(1)イ(イ) 圧力	水圧が変化すると、気体の体積がどのように変化するかについて表現できること。		○				○
④		(4)		第1分野 物理	中1	(1)イ(イ) 圧力	水面近くと深いところでの水圧や浮力の変化を理解していること。				○	○	
⑤		(5)		第1分野 物理	中1	(1)イ(イ) 圧力	水圧と身近な生活との関連について興味・関心をもっていること。	○					○
⑥	2	(1)		第1分野 化学	中2	(4)イ(イ)酸化と還元	還元の意味を理解していること。				○	○	
⑦		(2)		第1分野 化学	中2	(4)イ(イ)酸化と還元	実験結果から二酸化炭素が還元されると炭素が残ることを見だし、指摘できること。		○				○
⑧		(3)		第1分野 化学	中2	(4)イ(イ)酸化と還元	酸素と結びつく力の強さについて、実験結果から推論し、表現できること。		○				○
⑨		(4)		第1分野 化学	中2	(4)イ(イ)酸化と還元	化学変化を化学反応式で表すことができること。			○		○	
⑩		(5)		第1分野 化学	中2	(4)ウ(イ)質量変化の規則性	マグネシウムと化合した酸素の関係についてグラフをかくことができること。			○		○	
⑪		(6)		第1分野 化学	中2	(4)ウ(イ)質量変化の規則性	グラフや表を読み取り、マグネシウムと酸素の化合する比を見だし、表現できること。		○				○
⑫		(7)		第1分野 化学	中2	(4)ウ(イ)質量変化の規則性	グラフや表を読み取り、反応したマグネシウムの量を求めることができること。		○				○
⑬	3	(1)		第2分野 生物	中2	(3)ウ(ア) 脊椎動物の仲間	脊椎動物を比較し、子の生まれ方、体温などの特徴について共通点や相違点を理解していること。				○	○	
⑭		(2)		第2分野 生物	中2	(3)ウ(ア) 脊椎動物の仲間	体温が一定に保たれている動物の名称を理解していること。				○	○	
⑮		(3)		第2分野 生物	中2	(3)ウ(ア) 脊椎動物の仲間	両生類の呼吸のしかたについて表にまとめることができること。			○		○	
⑯		(4)		第2分野 生物	中2	(3)エ(ア) 生物の変遷と進化	セキツイ動物の特徴を基にセキツイ動物が水中生活から陸上生活に適したものに進化してきたことを推論し、表現できること。		○				○
⑰		(5)		第2分野 生物	中2	(3)エ(ア) 生物の変遷と進化	ヒトの前肢とクジラのひれが相同器官であることを比較して示すことができること。			○		○	
⑱		(6)		第2分野 生物	中2	(3)エ(ア) 生物の変遷と進化	生きた化石について理解していること。				○	○	
⑲		(7)		第2分野 生物	中2	(3)エ(ア) 生物の変遷と進化	羽毛を持った恐竜から、恐竜(の一部)が鳥類へ進化してきたことを推論し、表現できること。		○				○

平成27年度熊本県学力調査「ゆうチャレンジ」 中学校第2学年 理科 出題のねらい等

No.2

連番	大問	中問	小問	領 域	学年	学習指導要領の内容等	出題のねらい	観 点				問題類別	
								自然事象への関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解	知識	活用
⑳	4	(1)		第2分野 地学	中1	(2)ア(イ) 地震の伝わり方と地球内部の働き	地震の揺れについて、はじめに小さな揺れがあり、続いて大きな揺れがあることとその名称を理解していること。				○	○	
㉑		(2)		第2分野 地学	中1	(2)ア(イ) 地震の伝わり方と地球内部の働き	地震計の震度の記録から、震央を求めることができること。			○		○	
㉒		(3)		第2分野 地学	中1	(2)ア(イ) 地震の伝わり方と地球内部の働き	震度分布図を読み取り、震度と震源からの距離の関係についての特徴を読み取り、表現することができること。		○				○
㉓		(4)		第2分野 地学	中1	(2)ア(イ) 地震の伝わり方と地球内部の働き	地震計で観測した記録から、揺れの伝わる速さを求めることができること。			○		○	
㉔		(5)		第2分野 地学	中1	(2)ア(イ) 地震の伝わり方と地球内部の働き	地震が多く発生する場所は、プレートの境目が多いことを理解していること。				○	○	
㉕		(6)		第2分野 地学	中1	(2)ア(イ) 地震の伝わり方と地球内部の働き	災害に対する防災や減災のために、具体的な対策を取ろうとしていること。	○					○

※ 網掛けの問題は、平成26年度調査において課題が見られた内容の改善状況を見る問題として出題しています。